

## デクセリアルズ [4980・100 株] 7月29日 東証上場(所属部未定)

2015年7月9日(木)

更新: 10時51分

株式会社フィスコ

### 旧「ソニーケミカル」の再上場案件

#### 投資スタンスと初値メド

ブックビルディング参加	_____
初値投資	_____
初値メド	_____

市場の注目度	★★★
想定仮条件レンジ	1470円~1570円
予想PER	13.2倍(連)~14.1倍(連)
予想トレーディングレンジ 期間: 上場後1年を想定	1000円~2500円
予想PER	9.0倍(連)~22.5倍(連)

※★印は5段階評価

#### 日程

仮条件提示	7月10日
ブックビルディング期間	7月13日~7月17日
公開価格決定	7月21日
申込期間	7月22日~7月27日
払込日	-
上場日	7月29日

#### 類似会社 3社

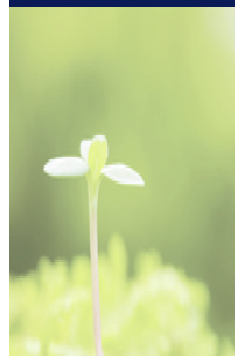
平均PER	14.1倍	→	1,567円
積水化学工業<4204>	13.2倍(連)	→	1,467円
日立化成<4217>	11.4倍(連)	→	1,267円
日東電工<6988>	17.7倍(連)	→	1,967円

(PERは7月8日終値の会社側予想ベース)

光学材料、電子材料、接合材料等の製造・販売を手掛ける。同社の前身はソニー<6758>子会社の「ソニーケミカル」として設立され、2012年に日本政策投資銀行及びユニゾン・キャピタルに買収された。主力製品である光学弾性樹脂や異方性導電膜はスマートフォン、タブレットPC、パソコン等で使用され、世界市場で高いシェアを有する。

公開規模800億円超の大規模案件であることが初値の伸びを抑える要因となる。プライベート・エクイティ・ファンドの出口案件というイメージからも個人投資家からの人気は高まりにくい。一方で、足元の堅調な業績や配当利回りの高さは株価の下支え要因となるだろう。

上場後も日本政策投資銀行やユニゾン・キャピタル系ファンドの保有株の一部は残り、将来的な売り圧力として意識される可能性がある。



# 銘柄紹介

## デクセリアルズ [4980・100 株] 7月29日 東証上場(所属部未定)

2015年7月9日(木)  
更新: 10時51分  
株式会社フィスコ



### 新規公開株レポート

業績推移 (百万円・%)						
決算期	売上高	伸び率	経常利益	伸び率	純利益	伸び率
2013/3	3,903	—	▲ 1,750	—	503	—
2014/3	50,044	1182.2%	5,756	—	7,652	1421.3%
2015/3	53,258	6.4%	8,971	55.9%	9,445	23.4%
2016/3 予	—	—	—	—	—	—

連結業績推移 (百万円・%)						
決算期	売上高	伸び率	経常利益	伸び率	純利益	伸び率
2014/3	63,307	—	7,208	—	8,044	—
2015/3	65,508	3.5%	9,870	36.9%	10,721	33.3%
2016/3 予	75,600	15.4%	11,500	16.5%	7,000	-34.7%
予想 EPS/配当	単独: -円 連結: 111.11円(上場時発行済株式数で試算) / 55.00円					

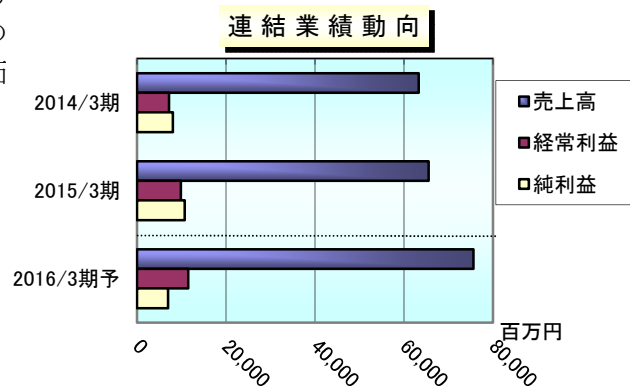
### 業績コメント

2016年3月期の業績は、売上高が前期比15.4%増の756.0億円、経常利益が同16.5%増の115.0億円と増収増益の見通しとなっている。

同社グループの製品に関わる足元の主要業界では、中小型ディスプレイの世界出荷数量が主にスマートフォンやタブレットPCの需要拡大により増加した。

このようななか、同社グループは、長年のビジネスで培った高機能材料に関するノウハウやプロセス技術、及び同社独自の顧客アプローチ等を通じて顧客の商品価値向上に注力した。

この結果、光学材料部品事業では、光学弾性樹脂の新製品や反射防止フィルムの販売が増加した。また、電子材料部品事業では、粘着テープ等の機能性接合材の採用が拡大したほか、異方性導電膜についてもディスプレイ用途以外での採用が進んだ。さらに、ファインピッチ化が一層求められる高性能ディスプレイのガラス基板と半導体等の接合を実現した粒子整列型異方性導電膜を開発した。



## 銘柄紹介

# デクセリアルズ [4980・100 株] 7月29日 東証上場(所属部未定)

2015年7月9日(木)  
更新: 10時51分  
株式会社フィスコ

基本概要	
所在地	東京都品川区大崎一丁目
代表者名(生年月日)	代表取締役社長 一ノ瀬隆(昭和32年2月23日生)
設立	平成24年6月20日
資本金	157億4700万円(平成27年6月23日現在)
従業員数	新規上場会社1746人 連結会社2368人 (平成27年5月31日現在)
発行済株式数(上場時)	63,000,000株(予定)
公開株式数	公募株 売出49,363,000株 (オーバーアロットメントによる売出4,686,000株)
公開規模	794.5億円~848.6億円(OA含む)
事業内容	光学材料、電子材料、接合材料等の製造・販売

売上高構成比率 (2015/3期 実績)			
品目	金額		比率
光学材料部品	29,048	百万円	44.3 %
電子材料部品	36,459	百万円	55.7 %
合計	65,508	百万円	100.0 %

幹事証券団 (予定)			
	証券会社名	引受株数	引受シェア
主幹事証券	大和証券(株)	未定	未定
幹事証券	三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)	未定	未定
幹事証券	SMBC日興証券(株)	未定	未定
幹事証券	野村證券(株)	未定	未定
幹事証券	みずほ証券(株)	未定	未定
幹事証券	SMBCフレンド証券(株)	未定	未定

## 銘柄紹介

# デクセリアルズ [4980・100 株] 7月29日 東証上場(所属部未定)

2015年7月9日(木)  
更新: 10時51分  
株式会社フィスコ



## 新規公開株レポート

### 大株主上位 10 位

順位	株主名	保有株数	保有シェア
1	株式会社日本政策投資銀行	37,800,000 株	58.24 %
2	UC Universe(F),L.P.	10,293,800 株	15.86 %
3	UC ユニバース投資事業有限責任組合	3,380,800 株	5.21 %
4	UC Universe(A),L.P.	3,266,100 株	5.03 %
5	UC Universe(B),L.P.	2,653,700 株	4.09 %
6	UC Universe Co-Investment(F),L.P.	2,035,600 株	3.14 %
7	UC Universe Co-Investment(A),L.P.	1,425,300 株	2.20 %
8	UC Universe Co-Investment(B),L.P.	1,204,600 株	1.86 %
9	UC ユニバース共同投資事業有限責任組合	910,100 株	1.40 %
10	一ノ瀬 隆	20,000 株	0.03 %
合計		62,990,000 株	97.06 %

### その他情報

手取金の使途	-	
関係会社	Dexerials America Corporation(連結子会社)光学材料部品事業、電子材料部品事業ほか、海外連結子会社9社、非連結子会社1社	
VC売却可能分(推定)	-社1株(売出し・保有期間などの制限があるもの以外)	
直近有償第三者割当	年月日	2012年9月28日
	割当先	一ノ瀬 隆、安藤 尚
	発行価格	500円 ※株式分割を考慮

## デクセリアルズ [4980・100 株] 7月29日 東証上場(所属部未定)

2015年7月9日(木)  
更新：10時51分  
株式会社フィスコ



### 銘柄紹介

同社グループは、同社及び子会社11社(連結子会社10社及び非連結子会社1社)により構成されており、光学材料、電子材料、接合材料等の製造・販売を主な事業としている。

#### (1) 光学材料部品事業

同事業は、光学フィルム、光学樹脂材料、光学ソリューションの3カテゴリーに分類される。これらカテゴリーには、光ディスク用紫外線硬化型樹脂、光学弾性樹脂、反射防止フィルム等が含まれており、特に主力製品である光学弾性樹脂(製品名：SVR、ハイブリッドSVR)は、OCR(光学透明粘着材)の世界市場で高いシェアを有する。全て顧客仕様に合わせてカスタマイズした上で、液晶パネルメーカーやセットメーカー等に販売している。主にスマートフォン、タブレットPC、パソコン向けのディスプレイ需要に対応する。中でも、光学弾性樹脂は、パネルの視認性向上や高コントラスト化が図られ、弾性特性により耐久性や耐衝撃性が向上し、パネルの薄型化が可能になったことで、ハイエンドスマートフォンを中心にディスプレイ材料の主流な貼合方式として需要が拡大している。

#### ■主な製品・ソリューションの概要

- ・反射防止フィルム：液晶パネルの表面に貼り付けることで、外光反射を低減し、パネルの視認性を向上させる機能を持つ。
- ・光ディスク用紫外線硬化型樹脂：DVD・BD等の光ディスク用の表面保護のためのコーティング剤・接着剤
- ・光学弾性樹脂：フラットパネルディスプレイでディスプレイモジュールとカバーガラスの貼り合わせに使われるアクリル樹脂を主原料とした透明な樹脂状粘着剤

・光学ソリューション：中国における同社光学材料製品の採用拡大を目的とした、主にスマートフォン・電子リーダー・デジタルカメラ向けの光学モジュールの製造

#### (2) 電子材料部品事業

同事業は、接合関連材料、異方性導電膜、リチウムイオン電池二次保護素子、マイクロデバイスの4カテゴリーに分類される。特に主力製品である異方性導電膜(製品名：ACF)は1977年に同社が業界で初めて開発・量産化しており、世界市場で高いシェアを有する。顧客仕様に合わせたカスタマイズ製品と標準タイプの汎用製品を、電子部品メーカーや材料加工メーカー等に販売する。中でも、異方性導電膜は、スマートフォンやタブレットPC等の小型化、薄型化、狭額縁化、軽量化に寄与する。さらに、その中でも、スマートフォン等の中小型パネルで主に使われるCOGタイプを同社は強みとしており、ディスプレイの高精細化に伴うハイエンドグレードの需要拡大期待に対して、安定的に供給できる体制を確立している。

#### ■主な製品の概要

- ・工業用機能性接合材：半導体・通信・車載機器向けの粘着テープ等の機能性接合材料
- ・異方性導電膜：ガラス・プリント基板に電子部品を接続する、導通と絶縁の機能を兼ね備えた接着フィルム
- ・リチウムイオン電池二次保護素子：リチウムイオン二次電池を過電圧や過電流から保護するためのヒューズ
- ・無機材料：主にプロジェクター向けの無機偏光板・無機波長板

## デクセリアルズ [4980・100 株] 7月29日 東証上場(所属部未定)

2015年7月9日(木)  
更新: 10時51分  
株式会社フィスコ



#### 投資のポイント

公開規模は 800 億円超の大規模案件である。2014 年に東証 1 部へ上場した公開規模 100 億円超の案件 9 社の公開価格に対する初値騰落率は平均 -3.3% となった。今年の案件でも、公開規模が 100 億円を超えたサンバイオ<4592> (マザーズ) の初値は公開価格を 14.5% 下回っており、Gunosy<6047> (同) も公開価格と同じ初値を付けている。プライベート・エクイティ・ファンドの出口案件というイメージからも個人投資家からの人気は高まりにくい。一方、足元の堅調な業績や配当利回りの高さは株価の下支え要因となるだろう。

したリクルート HD<6098> (2138.2 億円) 以来の大規模案件となる。上場後も日本政策投資銀行やユニゾン・キャピタル系ファンドの保有株の一部は残り、将来的な売り圧力として意識される可能性がある。需給懸念が強まれば、個人投資家の買い意欲の高まりは期待しにくい。

同社の前身はソニー<6758>子会社の「ソニーケミカル」として設立され、2000 年まで東証 2 部に上場していた。ソニーによる完全子会社化を経て、2012 年に日本政策投資銀行及びユニゾン・キャピタルに買収され、現在に至っている。光学材料部品事業及び電子材料部品事業を展開しており、主力製品である光学弾性樹脂や異方性導電膜はスマートフォン、タブレット PC、パソコン等で使用され、世界市場で高いシェアを有する。

業績面について、2016 年 3 月期は売上高が前期比 15.4% 増の 756.0 億円、経常利益が同 16.5% 増の 115.0 億円と増収増益の見通しとなっている。年間で 55.00 円の配当を予定しており、想定仮条件水準の配当利回りは 3% 台後半と高い。また、同水準の今期予想 PER は 13~14 倍程度で、類似企業と比較して妥当な水準と言える。

公開規模については、前述のとおり 800 億円を超える見込みで、昨年 10 月に上場



## 銘柄紹介

# デクセリアルズ [4980・100 株] 7月29日 東証上場(所属部未定)

2015年7月9日(木)  
更新: 10時51分  
株式会社フィスコ



## 新規公開株レポート

### 投資スタンスの見方

Aggressive (アグレッシブ)	積極的参加	投資収益率 100%以上が見込まれる案件
Active (アクティブ)	やや積極的参加	投資収益率 50%以上が見込まれる案件
Passive+ (パッシブ・プラス)	やや消極的参加	投資収益率 20~50%未満が見込まれる案件
Passive- (パッシブ・マイナス)	消極的参加	投資収益率 0~20%未満であり、マイナスの可能性のある案件
Negative (ネガティブ)	参加見送り	投資収益率がマイナスになる可能性が予想される案件

### 《 重要事項(ディスクレーム) 》

株式会社フィスコ(以下[フィスコ]という)は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。

“JASDAQ INDEX”の指数値及び商標は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり一切の権利は同社に帰属します。

掲載される情報はフィスコが信頼できると判断した情報源をもとにフィスコが作成・表示したものです。その内容及び情報の正確性、完全性、適時性について、フィスコは保証を行っておらず、また、いかなる責任を持つものではありません。

本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、事前にフィスコへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは堅く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは堅く禁じられています。

フィスコが提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本資料に掲載される株式、投資信託、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少する事もあり、価値を失う場合があります。

本資料は、本資料により投資された資金がその価値を維持または増大する事を保証するものではなく、本資料に基づいて投資を行った結果、お客様に何らかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかんを問わず、責任を負いません。

フィスコおよび関連会社とその取締役、役員、従業員は、本資料に掲載されている金融商品について保有している場合があります。

投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

株式会社フィスコ

### ■ 本資料のご留意事項

本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

本資料は、SBI証券が、株式会社フィスコが信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。

本資料の著作権、知的所有権等一切の権利は株式会社フィスコに帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

### ■ 手数料およびリスク等について

#### 国内株式取引の手数料

・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載しておりません）。詳しくは、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

#### 国内株式取引のリスク情報について

- ・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- ・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
- ・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

#### 留意点

- ・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の支店までお問い合わせください。
- ・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書は当該銘柄の取扱証券会社のホームページ等で入手いただけます。

商号等：株式会社SBI証券 金融商品取引業者

登録番号：関東財務局長（金商）第44号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、  
一般社団法人 第二種金融商品取引業協会